

課題名 (タイトル) :

SSBC NMR パイプライン高度化研究チームの遠隔地バックアップ

利用者氏名 : 安田 聡子

理研での所属研究室名 :

横浜研究所 生命分子システム基盤研究領域 NMR パイプライン高度化研究チーム

1. 本課題の研究の背景、目的、関係するプロジェクトとの関係
生命分子システム基盤研究領域 NMR パイプライン高度化研究チームで所有している大容量 NMR 測定データおよび実験データの遠隔地バックアップを行う
2. 具体的な利用内容、計算方法
daily, monthly, yearly に分けたダンプレベルでアーカイビングしたファイルボリュームを、SSBC より ssh 接続し、転送及び HSI への保存をスクリプトで行う。
ディスクの一時利用としてホームと /data 領域を使用。万が一カバリーする場合のみ、上記と逆の方向でファイルを呼び戻す。
2月現在の HIS 使用量 : 約 36TB
計算なし。
3. 結果
日々正常にバックアップが取られている。
4. まとめ
万一の事態が起こった際にもデータの復旧が可能となった。
5. 今後の計画・展望
引き続き、バックアップを行う予定である。
6. RICC の継続利用を希望の場合は、これまで利用した状況 (どの程度研究が進んだか、研究においてどこまで計算出来て、何が出来ていないか) や、継続して利用する際に行う具体的な内容
NMR 測定データおよびその他実験データについても日々バックアップを行っていく。
7. 一般利用で演算時間を使い切れなかった理由
8. 利用研究成果が無かった場合の理由